

【職員自己評価の集計結果】

<集計の仕方> ※ A:十分達成→5点 B:おおむね達成→3点 C:やや不十分→1点 D:不十分→0点 とし、
合計点を全員がA(5点)をつけた場合の何%にあたるかを達成度とした(人数は、項目により異なる)。
(A×人数)+(B×人数)+(C×人数)+(D×人数)=合計点 合計点÷(5×合計人数)×100=達成度

評価の観点	2020 7月	2020 12月	2021 7月	成果(○) や 課題(◇) ・ 改善策(◆)
項目【 学校目標を具現するための指導体制の確立と実践 】				
①4つの重点目標の具現に向けて、職員が共通認識をもち、連学年、学年、学級で取り組んでいるか。	72	68	68	◇日々の仕事の中で、そこまで考えて行動できていない。 ◆学年の先生に教えていただきながら取り組んでいる。 ◆学年会で常に話題にするようにしている。
②児童は、返事や発言の仕方、聴く態度が身についているか。	48	53	56	○よく聞ける1年生なので、より積み上げています。 ◇クラスの子も達を見てみると、聞くということについてもう少し力をつけていく必要がある。 ◇聴く態度の指導が十分にできなかったため、二学期は指導していきたい。 ◇もう一歩!と思います。こんなもんで良いか…とならないように指導を重ねていきたいと思っています。 ◆繰り返しその場で教えていくことを大切にしたい。
③児童は、進んで考え、自分なりに表現しようとしているか。	62	63	56	○自分に自信が付くと発信しようとする気持ちに繋がっている。 ○個人差はあるが、全員が表現しようとする様子がある。 ○進んで発言する子が増えてきた。 ◇失敗したくないという意識があり、わかっているも発言できない。
④児童は、自分から挨拶ができていますか。	50	48	60	○地域からは、よく挨拶ができるというお声をいただくことが多い。 ○来校者への挨拶も比較的よくできているというお声をいただく。 ◇個人差がある。 ◇自分から、というところがなかなかできない子が多い。 ◇まだ「自分から」という意識は弱い気がする。 ◇「自分から」というと、半分くらいの子はできているのかな?と思います。 ◇時々、挨拶をしても黙って通り過ぎる児童がいることが気になります。 ◆気持ちを一つなくための言葉であることを継続して問いかけていきたい。
⑤児童の清掃は、低「自分のやることをしっかり」中「自分から気づいて動く」高「責任をもち、そうじ場所と自分の心を振り返る」はできているか。	80	76	73	○全員が静かに取り組んでいます。(高学年)しかし、静かに掃除をしている様子をよく見てみると、「やっているふりをしている」子もいるなあとと思うことがあります。 ○一部喋ってしまう子がいるが、見つけ玉や親切玉を磨こうとする子が多い。 ○振り返りノートを見てみると、少しずつ芽が出てきている様子を感じます。 ◇個人差が大きい。とてもよくできていると感じる子と、繰り返し教えたほうがいかなさと思う子がいる。 ◇掃除中でも、自分の気持ちに向き合っていない時は座れる子どもが出てくるとより深い受け止めができるようになると思う。
項目【 基礎的な学力の定着と自己表現の育成 】				
⑥重点研究は、具体的な子どもの姿にもとづき、自己課題を意識した研究になっているか。	67	67	53	○子ども達のペースがやっとわかってきて、授業設定、授業運びがよくなってきつつある。が、まだまだ!! ○体育の研究で、子ども達が一つの目標に向かって考えることができた。 ◇どんな学習問題を設定すればよいのか、さらに研究していきたい。 ◇村瀬先生のお話を聞くと、なるほど…と思うが…。 ◇自分自身が、まだ、授業の進め方で迷ってしまう部分が多い。今のクラスの子に合った授業を考えたい。 ◆基本は部会毎の研究を進めるが、学び合い研修のように、全職員で集まって一つの授業について考える時間を、一学期に一回は持てるとういと思う。
⑦子ども自身が今持っている力で考え、行動し、「自分の力でできた」と実感できる授業づくりをしているか。	55	56	56	○児童が理解しやすいよう、どんな具体物があれば良いかを考えながら授業を行っている。 ○子ども達自身に直接聞いたわけではないのでわからないが、そのつもりで指導はしている。 ○子ども達同士でヒントを出し合ったり励まし合ったりする姿が見られるようになった。
⑧学習問題を黒板に提示し、ねらいを明確にした「わかる授業」を行っているか。	58	60	50	○努力しています。そこをきちんと据えていくことで、指導する側としても授業が明確になり、無駄な部分を削ぎ落とせる気がしている。 ◇自分の中で授業の流れが明確にならない。教材研究の仕方を工夫したい。 ◇W型の学習問題を据えるものの、子ども達の考えることとずれてしまうことが多々あり、苦しみながらも取り組んでいる最中。
⑨一斉指導・グループ学習・個別指導、PCなどでメリハリのある授業を展開しているか。	53	64	54	○話し合い活動で深めていくことができるようになってきたため、6年生2人で自分の考えを伝えあう場が持てるようになった。 ○Chromebookを日々使用する機会が増えた。 ○タブレットを活用することができた。ICT支援員の西澤さんが訪問してくれるのが良かった。 ◇PCを活用できるように、2学期は頑張りたい。 ◇子どもの反応に合わせた展開に課題がある。 ◆一斉指導、全体追求では、発言が限られてしまうため、なるべくグループ学習を取り入れ、子ども達が考える時間や話す時間の機会をできるだけ確保するようにしている。

⑩学習内容を定着させるために、授業の終末で「見とどけ」をしっかりと行っているか	47	45	46	○学級の子どもの様子が次第につかめてきているので、子ども達の実態に即した週末に向けての授業の構成を工夫する努力をしている。 ◇学習内容を扱うことや追求の場面を重視するあまり、見届けられずに終了することが多いことが課題となっている。
⑪授業につながる宿題を工夫し、保護者と協力しながら学年に応じた指導をしているか。	67	62	65	○宿題カードに保護者欄も設け、毎日家庭でも確認をしてもらっている。 ○宿題を忘れる子はほとんど無く、自主学習にも取り組んでいる。 ◇3年生には、さらにもう一工夫したいと痛感しています。 ◆学年で統一したプリントを出している。
項目【 よりよい人間関係づくり 】				
⑫子どもが楽しく登校できるように、一人ひとりに声掛けしたり、家庭と連携をとったりしながら、一人ひとりに居場所がある学級づくりを行っているか	68	71	60	○毎日学校の様子を知らせ、保護者とは気になることの情報共有しながら対応している。 ○努力しているところではあるが、まだまだ上を目指したい。 ◇生徒指導上で問題行動があった際、直接話す(伝える)ことができずにモヤモヤを抱えている児童に対し、自分はどんなメッセージを発信していくかが課題だと感じている。 ◇一人一人に声掛けできているかと問われると、必ずしも子ども達にとって充分ではないと感じている。もちろん、日々努力は怠っていないが…。 ◇教室に入りにくい子がいるが、二学期にどのように支えていけばいいのかわ、なかなか見いだせずにいる。しかし、その子の思いや特性をよく受け止めながら、その子自らが持つ向上心に火をつけていきたい。
項目【 教育相談 】				
⑬保護者や子どもからの相談に対して、適切な対応ができていますか。	73	70	64	○相談を受けた際には、思いをもって受け止めるように努力をしているが、まだまださらに上を目指したい。 ◇自分では適切な対応ができていると思っているが、相手はどう感じているかはなかなかわからない。 ◇不登校傾向の児童に対して、どのような対応が適切であるかという事に不安を感じている。 ◇子ども達は、もっと担任とゆっくり話したいと思っているのかな…と感じている。時間や機会を生み出す努力を続けたい。 ◆子ども自身が、自分がどうしたいのかと自分に向き合う時間になるよう意識して話を聞くように努力している。
項目【 情報発信 】				
⑭学校は、日頃の学校教育の理解や信頼を得るために、学校便り・学年便り・ホームページ等で伝えているか。	71	75	64	○ICT支援員が常駐する日があり、ホームページの更新が定期的に行われていてよいと思う。 ◇出来事や連絡事項は都度的確に発信できていると思うが、担任としての思いや考え方をもっと具体的に発信していきたい。まだまだ上を目指したい。 ◆学級だよりをもっと出せるようにしたい。最低でも月一回程度は発行していきたい。
項目【 安全安心対策 】				
⑮学校は、下校指導や、安全点検等を行い、事故防止や安全指導ができていますか。	71	72	70	○かつての事故の教訓を生かし、朝の登校指導を定期的実施できている。 ◇施設の老朽化を感じる箇所も増えてきているように感じる。安全確保には務めているが、引き続き丁寧な対応をしていきたい。 ◇登下校時にあまりにも送り迎えが多く、学校での事故防止や安全指導にも少々困難さを感じている。
項目【 非違行為防止 】				
⑯非違行為防止に努めているか。	84	86	87	○研修を積み重ねることで、非違行為のもたらす多大な影響は理解できている。研修で見返したように、この仕事を志した時の思いをしっかりと思い出しながら職務を全うしたい。